

授業作り	重 点	身に付けた知識・技能を活用しながら、学習態度や学力のさらなる向上を図る。
環境作り		児童が主体的に学習したり、意欲的に取り組んだりできる環境を整備する。

■ 学年の取組について

学 年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年	/	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な学習習慣を身に付けられるようにする。 学習に意欲的に取り組めるようにする。 話をよく聞いて行動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な支援及び適宜な声掛け 掲示の活用
2 学 年	/	<ul style="list-style-type: none"> 学習規律を整える。 友達との交流を通じて学習の理解を深めることができるようにする。 既習の漢字を使って、文章を書くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> スモールステップでの取組 交流の場の設定 文を作る活動の定期的な実施
3 学 年	<ul style="list-style-type: none"> 新宿区学力定着度調査の結果、どの教科・領域も区平均を上回っている。 国語「書くこと」の領域では、段落相互の関係に注意して文章の構成を考える力の向上が必要である。 算数「数と計算」の領域では、個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「まず～」「つぎに～」「そして～」などの順番を表す言葉を使うことで、順序立てた文章を書く力を付けられるようにする。 九九の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書活動の充実 作文活動の定期的な実施 計算の反復練習 九九の練習 デジタルドリルの積極的な活用
4 学 年	<ul style="list-style-type: none"> 新宿区学力定着度調査の結果、国語の書くこと、読むこと以外は区平均を上回っている。 特に、国語の話すこと・聞くこと、算数の「測定」についてよく理解している。 文章の構造を理解して読み取ったり、自分の考えを書いてまとめたりする力の向上が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章構成を理解し、内容を正確に読み取る力の向上を図る。 自分の考えをまとめる力を高められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書活動の充実 書く活動の重点指導 意見交流の場の設定
5 学 年	<ul style="list-style-type: none"> 新宿区学力定着度調査の結果、国語、算数ともに区平均を上回っている。 考えを文章にすることに苦手意識をもっている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたい内容を整理し、言葉を選び順序立てて話すことができるようにする。 文章を書く経験を増やし、思いを表現する喜びを味わうことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアやグループで自分の考えを説明する時間の充実 自分の考えだけでなく、友達の考えを説明する機会の確保

	<ul style="list-style-type: none"> ・算数では、図や言葉、式を使って自分の考えをノートにまとめることに意欲的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・算数では、自分の考えを説明する力を伸ばしていく。 	
6 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・新宿区学力定着度調査の結果、国語、算数共に、教科総合、基礎、応用のすべての観点で、区平均を上回っている。しかし、応用の区平均との差は+7ポイント前後であるのに対し、基礎の区平均との差は+4ポイント前後である。基礎領域の指導を充実させることで、さらに児童の力が伸びていくと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の学習を振り返り、復習する習慣を身に付けられるようにする。 ・計算や作図などを順序だてて正確にできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎内容定着のためのデジタルドリルの活用 ・身に付けたことを活用する場面の設定
特 別 支 援			